



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創 立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会 長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



平城宮跡・大極殿

奈良大宮RC・富川会長挨拶



皆さん、改めましてこんにちは。九州・太宰府ロータリークラブの皆様、東京恵比寿ロータリークラブの皆様、ようこそ奈良においで下さいました。私共友好クラブと致しまして毎年こういう形の交流会を開催させて頂いております。今年は奈良に於きまして、平城遷都1300年祭という大変大きなイベントがございます。これに併せまして皆様方と一緒に交流会をやらう、ということでお招きさせて頂きまして、本当にたくさんのおみなさんにおいで頂きまして有難うございます。先程熊本ガバナー補佐からお話がありましたように、

今回のこのイベントに関しまして私達奈良県下13クラブが中心となりましてイベントに色々な意味でロータリーとして参加してもらおう、ということで企画致しました。それなりの成果を上げさせて頂いております。特にいまでもなしボランティアということで、ある期間この会場内にロータリアンがお越しになった際会場内を案内する、といったこともさせて頂いております。それから我々この2650地区以外のロータリアンの皆様にもお越し頂くということで、今月5月号の「ロータリーの友」にも紹介させて頂きました。あちこちから問い合わせの電話も頂いてる、という現状でございます。

本日は、折角おいで頂きましたので、1300年前の平城京である天平文化について、今回の遷都祭のチーフ・プロデューサーを務められました福井先生のお話を聞いたり、荒井敦子とまつぼっくり少年少女合唱団という奈良でも有名な合唱団（特に奈良の童歌等の研究をされている）もお楽しみ頂きたいと思っております。

先日ボランティアに私も少し参加致しましたが、シャトルバスで会場まで来る時に、お客様から、「『平城』と書いて『へいじょう』とも『なら』とも読み、万葉集の中にも『いにしへの奈良の都の八重桜 けふ九重に 匂ひぬるかな』という歌があります。」「何故『平城』と書いて『なら』と読むのですか」と訊かれて私は長く奈良に住んでおりますが、全く意識せず暮らしておりますので、咄嗟に答えられませんでした。そのことについて早速調べさせて頂きました。これは、「なら」というのは、「平坦なところ」という意味があるようで、今でも土地を「ならす=平坦にする」というように使われますが、飛鳥・藤原京から移る時に、「平坦なところに移る」ということで、「平=なら」となったようです。一文字ではなんですので、長安の都の真似をしたと言われているのですが、中国に倣って漢字二文字にするということになり、「平城」（“城”は栄える等の意味をもつ）となったようです。昔は「平城の都」と書いて「ならのみやこ」と読んだらしいです。ボランティアで来ていると、そういう色々なことを質問されます。

発行日／2010年5月25日
 2009-2010/41

Vol.31

No. 1507

HP: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp



育てよう人。

2009～10年度
 第2650地区のテーマ

『育てよう人』

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第42回 5月25日
 通算1507回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
 「四つのテスト」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 会員卓話 松岡 嘉平治
 テーマ「まず健康」
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第40回 5月15日
 通算1506回

R.C.は出席から 1506回

- 会員数 69名
- 出席免除者数 21名
- 出席者数 53名
- 補填者数 -
- 出席率 86.9%

1504回の修正

- 会員数 69名
- 出席免除者数 21名
- 出席者数 53名
- 補填者数 8名
- 出席率 95.3%

もう一つは「『大和は国のまほろば』とあるが、「まほろば」とはどういうことですか」と質問を受けましたが、その時も分からなかった。「まほろば」というのは、辞書で調べますと、「最も優れたところ、場所」という意味がある訳です。「大和は国のまほろば」というのは、「大和は国の中でも一番良いところですよ」という意味だそうです。そのように、私共も大変勉強になっております。

本日は有意義な会にしたいと思っておりますので、どうぞ一つ最後までお付き合いのほど、お願い致します。



本日計 350,000円 累計 2,582,500円

太宰府ロータリークラブ様（西川勲様、立石清一様、山田眞様、川添廣志様、天野繁様、馬場宣彦様、影山裕樹様、中西英貴様、佐々木健一様、佐藤文彦様、阿部隆雄様、西川陽子様、今村由美様）

平城遷都1300年記念例会おめでとうございます。13名でお邪魔しました。今日・明日とお世話になります。

太宰府ロータリークラブ 会長 武石清一様 「このたびは、奈良大宮ロータリークラブ遷都1300年記念例会にお招きいただきまして誠にありがとうございました。奈良分化研究所での例会では福井先生の講演、かわいい合唱団の歌声、平城宮跡の見学、夜には懇親会。また翌日は観光・ゴルフコンペの開催と素晴らしいおもてなしの数々。参加者全員、感激・感動を受けました。心から御礼申し上げます。心ばかりですが、私たちの気持ちを再度ニコニコ箱へお願いしたく同封させていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。」

太宰府ロータリークラブ 中西英貴様・西川勲様・西川陽子様 「前略、先日の遷都1300年記念例会では、大変お世話様に相成りありがとうございました。また私共観光組に付きましても一方ならぬ雑作をお掛けしてしまいました。つきましては、私共の気持ちをニコニコ・ボックスにでもと思い、失礼ながらお送りさせて頂きました、宜しくお願い致します。終わりに、今後も友好姉妹クラブの交流と親睦が益々広がりますよう祈念し、御礼と致します。早々」

東京恵比寿ロータリークラブご一同様 本日は大勢で参りました。宜しくお願いします。

東京恵比寿ロータリークラブ・神谷一雄様 平城遷都1300年。この記念すべき年に、由緒正しき、悠久の歴史ある場所での例会に参加できて大変うれしく思います。奈良大宮ロータリークラブの今後の一層の発展と皆様のご健勝を祈念いたします。

ガバナー補佐・熊本國勝様 奈良大宮RC、太宰府RC、東京恵比寿RCの合同例会、並びに平城京へようこそ！

竹川晴雄 君 遷都1300年記念例会に出席させて頂き有難うございます。31年前の京、5月15日は認証状伝達式の記念すべき日であります。式典後のエクスカッションには、此の平城宮跡にお客様を御案内したことなど思い起し、感慨も一入です。

北河原公敬君 東京恵比寿クラブそして太宰府クラブの皆様、ようこそ奈良へいらっしゃいました。今日、明日と楽しく親睦を深めましょう。夕刻の親睦パーティーにはお心遣いいただき、恐縮しております。心より感謝申し上げます。

宮西正伸 君 えびすロータリー、太宰府ロータリーの皆様、よろしくお願い致します。

富川 悟 君 ニコニコに協力

小西敏文 君 太宰府RC、東京恵比寿RCの皆様、本日は平常遷都1300年祭に御出席ありがとうございます。今後共友情と親睦を多いに深めて行きましょう！

藤川保雄 君 太宰府RC、恵比寿RCの皆様、ようこそ！

有井邦夫 君 太宰府・エビスのみなさん、ようこそ！

石野捨雄 君 ニコニコに協力させていただきます。

多田 実 君 ニコニコに協力

渡辺英孝 君 1300年記念例会 お目出とうございます。

楠木重樹 君 ニコニコに協力

橋本和典 君 太宰府の皆さん、恵比寿の皆さんようこそ！遷都1300年祭は如何でしたか？此度の北河原さんの東大寺220世別当就任を皆さんと一緒にお祝いできるのを心より嬉しく思います。有難うございました。

平野貞治 君 ニコニコに協力

谷川千代則君 ニコニコに協力

多田 廣 君 太宰府RCの皆様、恵比寿RCの皆様ようこそおいで下さいました。奈良をお楽しみ下さい。

高木伸夫 君 ニコニコに協力

武藤廣茂 君 恵比寿RC、太宰府RCの皆様、本日はようこそお越し頂きました。ごゆっくりお楽しみ下さい。

藤井正勝 君 ニコニコに協力

山本尚永 君 恵比寿、太宰府の皆様 ようこそいらっしゃいました！

増井義久 君 ようこそ、太宰府RC恵比寿RCの皆様。遷都1300年記念例会に来ていただき有難うございます。

井上正行 君 ニコニコに協力

潮田悦男 君 ニコニコに協力

土谷宗一 君 太宰府・東京恵比寿クラブの皆様、歓迎

大塩栄作 君 ニコニコに協力

畑中利久 君 太宰府・エビスのみなさん、ようこそ！

▼次項へつづく

太宰府RC・武石清一会長よりご挨拶



皆さんこんにちは。只今ご紹介に預かりました、友好クラブ太宰府ロータリークラブの会長をしております武石でございます。常日頃から奈良大宮の皆様方には大変お世話を掛けております。交換卓話、また山登り関係、いろんな形で交流を深めさせて頂いております。この場を借りて、本当に心から厚く御礼を申し上げます。

と思います。

本日は、日本でも国家的、国民的イベントであります平城遷都1300年の記念例会に13名お伺いさせて頂きました。本当に有難く厚く御礼申し上げます。メンバー11名と奥さま、そしてメンバーのお譲様ということで、お伺いさせて頂いております。

太宰府の地を少しだけ説明させて頂きますと、皆様方ご存知かと思いますが、太宰府には7世紀の後半に太宰府政庁が設置されたということです。大和朝廷より那の津の宮家（防人）、防衛と政治の中心、九州の中心ということで太宰府政庁が置かれた所です。奈良平安の時代にアジアの窓口ということで設置されたということです。こちらもうでございしますが、南北に22、東西に24の条坊がございしますが、平安京、平城京に次ぐ都市計画がなされた所でございします。山上憶良や大伴旅人、菅原道真という方の歌がたくさん残っております。そういうことで、御地とは大変深い関係がある所でございします。そういう訳で友好クラブとして、本日お招きいただきましたこと、本当に有難く思っているところでございしますし、また縁（えにし）を感じておるところです。今日、明日二日間、お言葉に甘えましてお骨折りを頂きまして大変有難く厚くお礼申し上げます。

奈良大宮クラブの皆さん方の益々のご健勝を祈念致しまして、ご挨拶にかえさせて頂きたいと思ひます。本日はどうもおめでとうございました。

東京恵比寿RC・鈴木英之幹事よりご挨拶



皆さんこんにちは。東京恵比寿ロータリークラブの幹事をしております鈴木と申します。本日は当クラブの会長の波多野が海外出張中の為、私がメッセージを代読させて頂きます。「奈良大宮ロータリークラブ会長、幹事、並びに御一同様

新緑の季節、古の都、平城宮の華麗な佇まいがさぞかし映えることと存じます。

本日はお招きいただき有難うございします。海外出張中の為、クラブの皆様方が折角ご準備下さいました平城遷都1300年祭会場での記念すべき例会に参加することができず、大変残念に思ひます。今年は行事も盛り沢山のお忙しい一年をお過ごしのことと存じます。そんな中先月には貴クラブの佐川会員の興味深い交換卓話と、大勢の皆様で例会にお越し頂きました事、心より感謝致しております。貴クラブとは平成16年6月1日に友好クラブを締結して以来もうすぐ7年目に入ろうとしております。今後とも、ロータリアンとして心をつにし、親睦奉仕の多方面より益々のお付き合いを心よりお願い申し上げます。奈良大宮ロータリークラブの皆様と太宰府ロータリークラブの皆様、益々のご多幸とご発展を記念してご挨拶とさせて頂きます。

東京恵比寿ロータリークラブ 会長 波多野容子」代読
以上です。

例会変更

桜井ロータリークラブ

・6月9日（水）

35周年記念例会の為、例会場所変更

場所：橿原ロイヤルホテル

時間：18:00～

※☒ビクター受付は行いません。

生駒ロータリークラブ

・6月2日（水）18:00～「あやめ館」

大和郡山ロータリークラブとの

合同例会の為、例会場所・時間変更

日時：6月5日（土）14時～

場所：奈良文化財研究所資料館

奈良市佐紀町 TEL:0742-30-6752

・6月30日（水）18:00～

最終例会の為、例会場を「あやめ館」に変更。

※☒両日とも現地にて通常の例会の受付を行います。

奈良西ロータリークラブ

・6月3日（木）

賀寿お祝い・新入会員歓迎会の為、
例会場所変更

※☒ビクター受付は行いません。☒

・6月10日（木）

年度末家族親睦移動例会の為、
例会場所・時間変更。

※☒ビクター受付は6月10日（木）午後5時半～午後6時まで奈良ロイヤルホテルフロント横にて行います。

京都山城ロータリークラブ

・6月16日（水）

定款第6条第1節Cにより、休会。

※☒ビクター受付は行いません。

本日のお客様

・☒太宰府ロータリークラブの皆様

・☒東京恵比寿ロータリークラブの皆様

・☒国際ロータリー第2650地区

ガバナー補佐 熊本國勝 様

（平城京RC）

・☒森元重光 様（五條RC）

次週の例会

松谷 幸和様（奈良県知事公室長）

テーマ 「県政運営の主要課題」

国際ロータリー第2650地区・熊本國勝ガバナー補佐よりご挨拶



こんにちは。太宰府ロータリークラブ並びに東京恵比寿ロータリークラブの皆さん、ようこそ平城京へお越し頂きまして有難うございます。私、奈良第一地区のガバナー補佐をしております熊本でございますが、所属クラブが平城京ということで、名前は平城京ですが、ここのテリトリーを担当しているのは奈良大宮ロータリークラブでございます。

実は今回このような合同例会が催されるに当たりまして、去年から富川会長、植村幹事を中心に奈良県内で遷都1300年祭を祝おうじゃないかということで、なんとか県下のロータリアンが一緒になってやれないか、ということを一半年

から計画してまいりました。お陰様で全13ロータリークラブ、全会員がボランティア活動をしよう、そして協議会の方から「それでは何かロータリークラブさんにできることはないだろうか」ということで、ここの国立奈良文化財研究所の講堂の使用を許して頂きまして、各クラブがこの会場で例会をしながらこの1300年祭を祝い、自分達も歴史の勉強をしようじゃないか、ということでさせて頂いております。その中心になって頂いたのが奈良大宮ロータリークラブ様でございまして、本当にお世話になりました。今日、明日と好天が続くということでございます。是非ともこの奈良を改めて見直して頂く機会にして頂ければ、と思います。

簡単でございますが、ご挨拶とさせて頂きます。本日はよろしくお願い致します。

はじまりの奈良 めぐる感動

平城遷都1300年祭チーフ・プロデューサー 福井昌平氏



平城遷都1300年祭の統一テーマは、“はじまりの奈良、めぐる感動”。

今、日本は観光立国を掲げ、観光が国の重要な柱になっている。全国の各地域においても観光立地域の動きが活発化。

このようななかで、平城遷都1300年祭の大きなねらいは、奈良の観光交流能力を高め、さらに元気にしていこうということ。奈良がもっている観光という要素と、歴史文化を学ぶという要素、即ち、観光と教育を新しい活力を持った形で創造する契機にすべきと考えます。

1300年祭のマスコットは、“せんとくん”。登場した時には、いろんな批判的なご意見も多く寄せられましたが、我々は、奈良の持っている独自性、歴史の

厚みを十分に意識して、この“せんとくん”を送り出した。『知らないものは愛せない』という言葉がありますが、今や、せんとくんは、全国的に多くの方々に支持されています。

奈良の観光交流に話を戻します。奈良の交流人口は、昭和63年のシルク博をピークに、残念ながら右肩下がり。博覧会が一過性で良くないという意見を聞くこともありますが、私は、その後の奈良の観光交流を支えるソフト・ハードが戦略的に構築されてこなかったという面もあるのではと思います。最近では、燈花会や遷都祭、ライトアップ・プロムナードなど、市民参加による新たな魅力創出の動きもあり、奈良への入り込み客数もやや上向いてきていると聞いております。平城遷都1300年祭は、この奈良を大きく飛躍させる絶好の機会としないといけないと強く思うところであります。

1300年祭の計画を進めるにあたって、最初にキーワードにしたのが、“はじまりの奈良”。このことを全国・世界の多くの皆様に、魅力的に効率よく伝えるには、どうすれば良いのかということを考えてきました。奈良には、いろんな“はじまり”があります。例えば、古墳文明、仏教伝来、神仏習合、都城建設、記紀歌謡、等々。また、様々なモノやコト、お茶、御能、酒、貨幣、等々が、奈良が発祥の地であります。日本文化の基層をつくってきたのが奈良ということ。

それで、平城遷都1300年というのは、どういうことになるのか。私の個人的な捉え方ではありますが、平城京は天武朝の100年の夢、と言えるのではないかと。白村江の戦など韓半島との緊張関係、近江京遷都、壬申の乱など大きな激動のなかで天武朝が誕生した。その後、710年に平城京に遷都され、784年に長岡京に都が遷るわけですが、奈良時代は、まさに天武朝の夢が詰まった時代と言えるのでは、と思うのです。今年2010年は、平城遷都1300年ですが、2012年は古事記1300年、2052年は大仏開眼1300年がやってくる。これから50年、100年は、奈良が再び大きなエネルギーを発信できる時代であり、これを大いに活用していくという気概で物事に取り組んでいかなければならないと思うのです。

“はじまりの奈良”ということをお願いしたが、これらの要素は全県各地にあり、奈良全県各地が平城京誕生のプロデューサーということ。また、平城京の誕生には、舟運ということも大きな要素。隣の木津川市の木津川は、往時の都城建設に大きな役割を担っています。これらにより全国から平城京に人や物資が集まったわけで、そういうことから、この1300年祭は、平城京周辺だけでなく、飛鳥・藤原、吉野、葛城、大和高原などの全県各地、さらには全国的なリンケージのなかで進め、盛り上げていく必要があります。1300年祭では、このような「日本のは

じまり奈良」を象徴し体感する〈場〉として、メイン会場としているのが、この平城宮跡。南北約1km、東西約1.3km。約130haの特別史跡。2008年に国営公園化が閣議決定され、今後、歴史文化を学ぶ場所、観光の重要な拠点として整備されていくことになります。ここで、平城宮跡、日本の歴史文化拠点の価値の構造について話をさせていただきます。三つのアプローチ、遺跡Remains、遺産Heritage、資産Propertyの観点から考えてみます。遺跡の価値創造については、発掘調査、それに基づく研究と成果、モノ・施設の復原、国宝や特別史跡の指定、博物館の建設といった一連のプロセスがあります。奈良・平城京は、これらについての極めて高いポテンシャルとポジションを持っています。次に、遺産の価値創造についてですが、よく知られているところでは、ユネスコの世界遺産“World Heritage”。これについては、価値の証明、Authenticityが必要。それから、保存の主体条件を確立、公的な登録や学ぶことのできるシステムの構築、受け入れサービスの確立といった価値創造のプロセスが必要となります。平城宮跡は、春日大社や東大寺などの社寺等とともに世界遺産「古都奈良の文化財」に登録されており、その価値は世界的・全国的に認知されています。次に、資産の価値創造についてですが、例示的に申し上げますと、英国のナショナル・トラスト運動や日本の国営歴史公園などが挙げられます。国民の合意形成、市民参加、保存と活用のルールづくり、自立的な経済活動・効果の組み込みなどにより資産価値が創造されるのです。英国の湖水地方Lake Districtでは、商業看板が禁止、隣地界の柵を設けない、といった住民協定による地域経営がなされており、歴史的な建造物の保存活用や景観保全などによる新しい価値資産づくりが進められています。

それでは、平城宮跡はどうなのかということでは、先程から申し上げておりますが、国の特別史跡に指定され、発掘調査、研究活動が非常に盛んに行われている。この平城宮跡資料館や遺構展示館などは、50年の発掘・研究の成果であり、宝庫であります。それから平城宮跡は、地下遺構が世界遺産に登録されており、保存と復原が進められています。残念ながら、大極殿、朱雀門、東院庭園などの復原施設は世界遺産には登録されていません。厳正に復原された非常に価値のある教育的レプリカと言って良いと思いますが、これらも100年後には世界遺産になるのでは、と思っております。今後は、2008年閣議決定された国営歴史公園事業が進められることとなりますが、これは、これまで文化庁が取り組んできた「遺跡博物館構想」をベースに、平城宮跡全体がフィールド・ミュージアムとして整備されるものであります。壮大なプロジェクトであり、10年、20年、あるいは50年以上の年月をかけて、段階的に整備が進められるものと思います。既に国営公園の基本計画は公表されておりますが、それによりますと、大極殿正殿の周辺、現在、修景柵が設置されている場所に、回廊が復原されます。その回廊には、朱雀門のような南門と東西の楼閣も復原され、また、朱雀門の南側は、国が展示・体験学習館を、県が観光案内・交通ターミナル拠点を整備する計画となっております。

1300年祭は、今、申し上げてきた価値創造をハード・ソフトの両面で進めていくための契機、絶好のタイミングであります。奈良は、これまで東大寺などを中心とした奈良公園やならまち、薬師寺、唐招提寺などの西の京の魅力を発信してきましたが、この平城宮跡が新たな拠点として編成されることによって、全体としての平城京を体感する、学ぶ、楽しむ環境やシステムが、飛躍的に広がっていくことになります。1300年祭は、こういった方向を目指して、計画してきたものであります。

それでは、1300年祭では、どのようなソフトを用意しているのか、ということになりますが、ここで、“参加体験学習Learning Experience”をキーワードに展開している二つのプログラム群を紹介します。ひとつは、「なりきり体験」プログラム群、もうひとつは「探訪ツアー」プログラム群。今日の成熟社会においては、体験価値をベースにした新しい経済の開発が求められており、これも1300年祭の大きなテーマであり、社会実験としての大きな意味を持っています。

なりきり体験では、大極殿や朱雀門、東院庭園といった復原施設を舞台にした往時の再現をおこなっています。朱雀門では平城宮跡を警護していた衛士の再現、大極殿では天平衣装なりきりウォークなども行っており、大変な人気であります。秋には、大極殿や東院庭園などを舞台にして、相撲節会や蹴鞠、曲水宴などの年中行事も再現。また、平城宮跡資料館、遺構展示館がリニューアル・オープンされ、平城京の生活文化を体感できる仕掛けが整っています。平城京歴史館では、原寸大の遣唐使船や平城京のバーチャル映像などの展示があり、船の甲板では衣装体験もできます。また、遺構展示館の南側にある「なりきり体験館」では、天平衣装のクロマキー・スタジオ、木簡づくり、疑似発掘体験などがあり、修学旅行や遠足をはじめ子どもたちに大人気。

次に、探訪ツアーは、平城宮跡をめぐりながら歴史文化を楽しく学ぶことができ、それにより歴史好きを増やそうという試み。日本で初めての本格的な歴史文化のインタープリテーション型ツアーを実現させるもの。インタープリテーションというのは、翻訳とか通訳という意味ですが、小学生や中学生、あるいはカルチャーセンターなども対象にして、平城宮跡の現地で、その遺跡や歴史について、わかりやすくガイダンスしていきたいというもの。この取り組みにより、

修学旅行や校外学習などを積極的に受け入れ、奈良観光復興の起爆剤にしたいと考えています。また、1300年祭で培われたノウハウやシステムなどのソフト資源をこれからの国営歴史公園に継承していきたいと考えております。具体的なプログラムとしては、定点ガイドシステム、ガイドツアーシステム、セルフガイドシステムなど。奈良文化財研究所の解説ボランティアの方々、ガイドツアーボランティアとして新たに登録された方々、外国語通訳ボランティアの方々など、合わせて400名近いボランティアの方々が、日々大変熱心に頑張っており、参加者からも高い評価を得ています。

1300年祭の開催を通して、ソフト・ハードを組み合わせた体験価値、IT時代への対応、産官学・市民の協働体制を視野に入れながら、このような「参加体験学習」プログラムを、開発することにより、明日の奈良・平城京の活

性化につなげたいと考えております。

最後に、奈良について私が、思うことを申し上げたい。京都の山折先生と話をさせていただく機会があるのですが、先生と話が一致するのは、『京都と奈良の観光地では、女性がリードして、男性が女性の後について回っている。』ということ。一方、違うところも、大きく二つあるように思う。一つは、京都のお客様は、一生懸命、庭を見ている、あるいは芸術品を見ているのに対し、奈良のお客様は仏像を見ている。仏像においては、奈良は京都の倍の国宝がある。さらに、正倉院宝物8,000点は国宝指定されていませんが、おそらくそれ以上の価値があると思われることから、奈良は、まさに国宝の宝庫であります。もうひとつ京都と奈良の違いを申し上げると、京都にお出かけの人は、"おめかし"をして行かれます。奈良の場合、リュックを背負ってスニーカーを履いて、日除けクリームをつけて颯爽と歩かれています。これは一見、おしゃれとは程遠いように思われるかもしれませんが、実は、リュックもスニーカーもブランド品というのが、最近のトレンドになっており、京都の観光客が高いものを身につけていて、奈良はそうではない、ということでは決して無い。このような奈良・ウォーキング・ファッションも、これからの観光立国・観光立地域のスタイルになるのではないかと。まさに、今の平城宮跡の観光スタイルそのものであります。

平城遷都1300年についての私の考え、思いをお話させていただきました。今後とも、精一杯取り組んでまいりますので、皆様には、一回でも多く、この平城宮跡に足を運んでいただきたく、また、引き続き、ご支援・ご協力を賜りたく、よろしくお願いいたします。ご静聴有り難うございました。

思い出アルバム





ゴルフ組 ディアパークゴルフクラブにおいて懇親コンペ
優勝 太宰府ロータリークラブ 天野 繁 様

観 光 組 奈良ホテル→信貴生駒スカイライン→信貴山朝護孫子寺（拝観）→
信貴山（旅亭十三屋にて昼食）→法隆寺・中宮寺（拝観）→近鉄奈良